

## 芸術銀河2020 各ワークショップ・アウトリーチ事業概要

		舞台ワークショップ	美術ワークショップ
目的		舞台芸術(演劇・ダンス等)で活躍している方を講師に迎え、体験型のワークショップを開催し、舞台芸術に触れる機会の少ない人へ体験する機会を提供するとともに、将来の地域文化の担い手を育てること	県内等で活躍する美術家を講師に迎え、体験型のワークショップを開催し、参加者が作品の製作を通して文化芸術活動への関心を高め、新たな美術愛好者層の拡大を図ること
主催		「開催市町村等(下記(1)から(4)に該当する団体)」と「みやぎ県民文化創造の祭典実行委員会」で共催 (1)市町村(市町村の文化振興財団等文化振興に係る公益法人を含む) (2)市町村を構成員とする文化振興を目的とする団体 (3)市町村が設置する施設の管理を行う指定管理者 (4)前(1)から(3)に準ずると実行委員会が認める団体(高等学校等)	
内容	募集事業数	10件程度	5件程度
	形式	舞台上で出演者が発表し観客が見る形式の気軽に参加できる舞台芸術の体験型ワークショップ	自分で作品を制作する形式の気軽に参加できる美術の体験型ワークショップ
	対象分野	演劇, 舞踊, 伝統芸能(神楽, 能楽, 歌舞伎等), 芸能(講談, 落語等), 身体表現(ダンス等)等	絵画, 彫刻, 工芸, 写真, 書, 華道, 茶道, 現代アート 等
	開催時期	令和2年9月から11月まで(開催市町村等の都合により変更可能)	
	1事業あたりの回数及び時間	1回以上 2時間程度/1回	1回以上 2時間程度/1回
	開催地	宮城県内の公共施設(保育所, 学校, 公民館等), 文化施設, 医療施設, 福祉施設, 震災復興住宅等	
	実行委員会負担経費上限額	150,000円	100,000円
実行委員会が必要と認める場合には概算払いが可能			
事務分担		開催市町村等 ①事業の企画・立案 ②会場の確保 ③講師(アーティスト)及び会場との調整 ④参加者募集の広報 ⑤会計処理 等	みやぎ県民文化創造の祭典実行委員会 ①全体の広報・調整 ②事業経費の負担 ③開催団体に対する支援 等

※事業の詳細については、別添の各実施要項を御確認ください。